

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
小児看護学		BNNSS3L28	30601	2前	2(30)	必修
担当教員	堀井 理司	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務		
概要	<p>小児保健・医療・福祉、子どもを取り巻く環境、子どもの権利の捉え方の歴史的変遷について概観し、今後の動向を展望する。</p> <p>また、小児とその家族を支援するために、理論に基づき子どもの成長発達の特徴、発達課題について理解し、健康の保持増進、疾病予防の観点について、小児に特有の疾病や発達障がいについて学び、疾病や障がいをもち子どもの家族の果たす役割についても理解を深めるなど、小児看護の基礎的知識と技術を修得する。</p>					
学修目標	<p>【目的】 子どもの成長・発達の特徴について学び、健やかな成長発達のための援助と健康が障害された子どもと家族に応じた看護を行う基礎的能力を修得する。</p> <p>【目標】 1) 小児各期の成長・発達と子どもを取り巻くより良い環境を説明でき、成長発達を促す方法を指摘できる。 2) 主な小児の発達理論を通して子どもの発達段階を説明できる。 3) 小児各期に特徴的な健康問題と健康が障害された子どもと家族の状況を説明できる。 4) 健康が障害された子どもとその家族に適切な看護ができる基礎的知識と技術について説明できる。</p>					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	小児看護の特徴と理念:対象、目標と役割			予習:テキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する		
2	小児と家族の諸統計、小児看護の変遷、小児看護における倫理、小児看護の課題			予習:テキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する		
3	成長発達とは、成長発達の進み方、影響する因子、成長の評価、発達の評価			予習:テキストの該当部分、生涯発達論の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
4	小児の成長発達と生活の援助:新生児期・乳児期			予習:テキストの該当部分、生涯発達論の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
5	小児の成長発達と生活の援助:幼児期前期			予習:テキストの該当部分、生涯発達論の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
6	小児の成長発達と生活の援助:幼児期後期			予習:テキストの該当部分、生涯発達論の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
7	小児の成長発達と生活の援助:学童期			予習:テキストの該当部分、生涯発達論の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
8	小児の成長発達と生活の援助:思春期・青年期			予習:テキストの該当部分、生涯発達論の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
9	小児の栄養:新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期			予習:テキストの該当部分、既習の栄養学を参照 要点について各自で整理して記述する		
10	小児の免疫と感染症			予習:テキストの該当部分、既習の微生物学・疾病と治療Ⅲを再確認 要点について各自で整理して記述する		
11	病気、障害をもつ子どもと家族の看護:病気・障害が小児と家族に与える影響			予習:テキストの該当部分、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
12	病気、障害をもつ子どもと家族の看護:子どもの健康問題と看護			予習:テキストの該当部分、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
13	加療環境に特徴づけられる看護:入院中、外来			予習:テキストの該当部分、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
14	加療環境に特徴づけられる看護:在宅、災害時			予習:テキストの該当部分、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する		
15	小児における疾病の経過と看護:急性期、周手術期			予習:テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する		
16	小児における疾病の経過と看護:慢性期、終末期			予習:テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する		
17	小児のアセスメントに必要な技術:コミュニケーション、バイタルチェック、身体測定			予習:ヘルス・フィジカルテキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する		

18	小児の身体的アセスメントに必要な技術：一般状態、系統別	予習：ヘルス・フィジカルテキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する
19	症状を示す子どもと看護：不機嫌、啼泣、痛み、呼吸困難、チアノーゼ	予習：疾病と治療Ⅲ、テキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する
20	症状を示す子どもと看護：ショック、意識障害、出血、貧血	予習：疾病と治療Ⅲ、テキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する
21	症状を示す子どもと看護：けいれん、発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水、発疹、黄疸	予習：疾病と治療Ⅲ、テキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する
22	検査、処置を受ける子どもの看護：子どもにとっての検査・処置体験	予習：テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する
23	検査、処置を受ける子どもの看護：与薬、輸液、経管栄養、抑制	予習：テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する
24	検査、処置を受ける子どもの看護：検体採取	予習：テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する
25	検査、処置を受ける子どもの看護：糞法、清潔、排泄	予習：テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する
26	検査、処置を受ける子どもの看護：呼吸・循環の確保、環境調整、救急救命	予習：テキストの該当部分・家族支援論・臨床心理学を復習 要点について各自で整理して記述する
27	子どもの障がいの理解と支援：障害のとらえ方	予習：テキストの該当部分を参照 要点について各自で整理して記述する
28	障害のある子どもと家族の看護：家族の特徴と社会的支援	予習：テキストの該当部分、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自でまとめる
29	子どもの虐待予防と看護	予習：テキストの該当部分、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する
30	子どもの福祉と諸制度	予習：テキストの該当部分、社会福祉の既習内容を再確認 要点について各自で整理して記述する
使用 テキスト	奈良間美保他(2020)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論』	
参考図書	適宜紹介する。	
成績評価 基準	定期試験80%、レポート10%、要点の記録10%	